

ひわご学院大学 令和五年度 一般選抜(国語) (注) 設問で指示をした字数には句読点等も含みます。

- 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。 *一部改行箇所等を改めています。

これは先ごろ、某テレビ番組のコメントーターとして出演した際、スタッフにたのんで、渋谷にたむろする一〇代の諸君から収集してもらったもの。最新の資料です。

今からマヂ、渋谷とか行つとく？ だよね。マヂ遠すぎて他界しそう！

マヂ、パないよねー！ でも俄然ハイパーで行くつきやないっしょ！

「ここには「マヂ」が三度も出てきますが、ほとんどが無意味な間投詞として使われており、リズムを加える役割しかありません。今では「マヂ」と書いて「マジ」としないのがはやりだとか。そう言えば、「渋谷とか」のように「トカタリ言葉」(くとか、くたり)で物事をボカしながら同時に調子を整える方法は、あい変わらず(せ)ケンザイです。遠くて大変というのは、大げさでコミカルに「他界しそう」とするわけですね。

問題は「パないよね」ですが、お分かりになりますか。これは「半端じゃない」↓「ハンパない」↓「バない」と変化したもののようで、「半端ではなく遠いよね」の意味になります。ですから、元気をふるい起こして出発しなければならず、ゴツゴツした漢語の「俄然」で力を入れて、さらに「ハイパー」で強調することになるわけです。「ハイパー」は、最初「ハイパワー」かなとも思ったのですが、これはどうやら「ハイパー・マーケット」などの「巨大な」「スゴい」からきているらしく、彼らがよく使う「超」と同じようなものだと考えられます。

さて、ここから(b)「チュウシュツ」でできる若者ことばの特徴は何でしょうか。おそらくそれは、大きく二つに分けられるだろうと思われれます。

まず第一には、リズムカルな「ノリ」を大切にしている。これは「マヂ」のくり返しや「トカタリ言葉」の使用、あるいは「パない」や「俄然」の音調、さらには「行くつきやないっしょ」の調子などから感じていただけるにちがいありません。もとより彼らの会話は、年配の方からすればかなりスピードのあるものだから、それがこうしたリズムをもつことで、うまくノれるわけですね。

(一) I (一)、テレビのお笑い芸人やニュースキャスターの口調にも影響されているだろうと考えられます。そのハイテンションが影響して、「他界」「俄然」「ハイパー」のような強調表現も続出することになるでしょう。

そして第二に、これはとりわけ若者ことばに特徴的なことですが、他の人々、とくに大人たちとはちがった表現をしようとする。「パない」や「ハイパー」がそうですし、「他界」や「俄然」といった漢語の使い方も、どことなく茶化した感じで、大人のものと一線を画しているわけですね。これは当然ながら、自分たちだけのそうした言葉づかいを共有することによって、仲間同士の連帯感を深め、若者世代への帰属意識を強めようとするものに他なりません。

もとより、X「ことには、なんら異を唱えるべきものはないでしょう。ただし、その背後に隠された若者ことばの傾向と、これが現在の日本社会のなかでどのように機能しているかということを考えてみるならば、そこには見えずことのできない問題が浮かび上がってまいります。

そろそろこのあたりで、私たちはそれを細かく分析してみなければなりません。まず、ノリのよさということから考えてみると、そこで使われる言葉は、おおよそ感性的なものになってしまいました。リズム作りに(c)キヨするだけの「マヂ」のような無意味な言葉はもとより、「他界」も「ハイパー」もやはり感性的な強調表現にすぎません。とりわけ「他界」などは、本来の意味が大変なものであるだけに、それを「疲れる」という程度のことを使用するおかしさを演出しながら、タカイという軽いひびきのなかでコミカルに使っています。渋谷を徘徊する子たちは、ちょっとした賭けなどで勝つと、負けた相手に向かって「ハイ、タカイ」などとく①汎用的に使っているんですね。そんなぐあいですから、これまでにあらわれては消えていった数々の若者ことばのなかにも、優れた感性をそなえたものはたくさんありました。たとえば、中年男へのおちよくりと嫌悪感をあらわす「あぶらギッシユ」。

あるいは、Y「を表現した「シングルベル」。さらには「アッシーくん」「メッシーくん」から「おやじギヤル」まで、実に見事というほかないでしょう。

(二) II (一)、残念ながら、やはりここにあるのは感性の洗練ばかりであって、論理性の欠如はいなめません。そのうえ、特定のよく使われる若者ことばが出現すると、それによってすべてを処理してしまう傾向も生じます。思考のパターン化でも言うべきでしょうか、「マジ」「チョー」「バリ」などを連発しながら、何事も「スゴイ」「カワイイ」「ムカつく」といった単純な言葉で一括りにしてしまふ、(一)「ピシッショ」と言いながら微妙な認識のちがいを表現できなくなるわけです。これがいわゆる「ボキヤ貧(ボキ

「ヤブラリーの貧困」です。

ボキヤ貧は、対象を分析することも、自分自身の気持ちを分析することもできませんから、どことなく不快な「ムカツキ」を蓄積していくしかありません。ですから、そうしたムカツきが(d)キョウウ量をこえると、突如として「キレル」ことになるでしょう。近年、頻発している若者たちの思いがけない凶行も、こうした言語の問題と、あなたが無縁ではなさそうです。

いずれにしても、感性的言語やボキヤ貧は、分析や選択というプロセスをはしよってしまいますから、結局、対象の表面だけをすばやくとらえて大ざっぱに判断する習慣をもたらすことになるでしょう。犬猫でも、タレントでも、他人の服装や態度でも、すべてを瞬間的に把握して「カワイイ」か「キモイ」(気持ち悪い)か、「カッコイイ」か「ダサイ」かの二極的な価値判断のなかに投げこんでしまうようになるのです。判断は個人的な好感感以上に深められることもなく、二つの極の間には中間項も認められません。すべては、善か悪か、プラスかマイナスか、ひどく単純な割り切り方しかできなくなってしまう。昨今の若者向けテレビドラマやバラエティ番組のパターン化を見ていて、彼らのあいだにそうした(2)短絡的な思考法が根づきはじめているのではないかと危惧するのは、はたして私ばかりなのでしょうか。

さらにまた、こうした二極的な価値基準そのものが、きわめて一般的な時代の風潮に流されやすく、たとえば現代ならば「カッコイイ」ことや「ネアカ」であることが無批判に望ましいものとされてしまいます。おかげで、本来、青春にはつきものの「ダサイ」ことや「ネクラ」であることが、時代のトレンドに反するというだけで悪者にされ、嫌われるわけですね。その観点から見れば「トカタリ言葉」なども、単に表現をボカすだけではなく、やや斜にかまえて、マジメさを隠そうとするものなのかもしれません。

こうして今や、わが国の若者ことばは、マスコミヤや「マルキューブランド」と手をたずさえながら大衆消費社会の価値観を一身に体現し、何ごとも大段にはふりかぶらず、遊び感覚の話題を軽いノリでこなすことになるわけです。もちろん、個々に見れば、いつに変わらぬ悩み多き若者も、たった一人でダサイAをくり返している若者もいることでしょう。

けれども、大勢が軽いノリをよるこぶ時には、彼らは個人的な悩みをおし隠し、躁状態を装わなければなりません。若者ことばの第二の特徴が、連帯感や帰属意識を深めるところにあるのだとすれば、ほとんどそれは強制ともなるはず。流行におくれる「仲間はずれにされる」等々の強迫観念にさいなまれながら、若者たちが至るところで携帯メールを交換し、涙ぐましい努力で仲良しゴッコをくりひろげる理由も、なんとなく分かるような気がしませんか。

ところで若者と言えば、ほとんどいつの時代にも、彼らは大人たちに反抗し、既存の社会に「否」をつきつけてまいりました。たとえば「総括」「粉碎」「貫徹」等々、かつて学生運動はなやかなりしころに飛びかっていた若者ことばには、そんな傾向が色濃くあらわれていたものです。まあ、その良し悪しはともかくとして、こうした若者ことばは、言語学者ハリデイが名づけた「アンチ言語」という呼称にふさわしいものでしょう。それは「支配集団からの集団的差異を主張するため」につくり出されたものであり、(3)かなり鮮明なイデオロギーを背負いこんでいて、これがやがては社会を変革していくことにもなるわけです。

ところが、感性的な表現のみを得意とし、時代のトレンドに敏感で、同調的な傾向をもつ昨今の若者ことばは、結果として、大勢迎合的で、世間の価値観にとっぷりひたつたものとならざるをえないでしょう。(Ⅲ)若者たちは、時代を分析する意欲も能力ももたず、政治には背を向け、横並びに組織された学校・塾・クラブなどに(e)イゴコチのいい小集団をつくり、そのタコツポのなかで日々の暮らしに②汲々とするしかありません。

(加賀野井秀一『日本語を叱る』ちくま新書)

注 「マルキューブランド」・・・東京渋谷109発信のファッション等のブランド。

「イデオロギー」・・・政治、社会に関する基本的な考え。思想傾向。

「言語学者ハリデイ」・・・マイケル・アレクサンダー・カークウッド・ハリデイ。イギリス出身の言語学者。

問一 傍線部(a)～(e)のカタカナを漢字で書きなさい。

(a) ケンザイ

(b) チュウシュツ

(c) キョ

(d) キョヨウ

(e) イゴコチ

問二 二重傍線部①・②の意味として適するものを次より選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 汎用的
ア、冗談っぽく用いるさま
イ、無意味に用いるさま
ウ、広く多方面に用いるさま
エ、気軽に用いるさま
- ② 汲々と
ア、妥協するさま
イ、ゆとりのないさま
ウ、満足するさま
エ、こだわらないさま

問三 () I、II、IIIに最も適する語を次より選び、それぞれ記号で答えなさい。

- I (ア、そもそも) イ、おそらく ウ、だから エ、ちょうど
II (ア、そして) イ、そのうえ ウ、つまり エ、ところが
III (ア、いきおい) イ、たとえば ウ、なぜなら エ、とりわけ

問四 **A**に最も適する四字熟語を次より選び、漢字に直して答えなさい。なお、解答欄には漢字のみを記入しなさい。

- ア、ぎしんあんき イ、しゅしゃせんたく ウ、しこうさくこ エ、きどあいちへ

問五 **X**に入れるべき内容として、最も適するものを次より選び、記号で答えなさい。

- ア、会話にリズムを求めたり、かなりのスピードを求めたりする
イ、テレビのお笑い芸人やニュースキャスターの口調に影響される
ウ、大人たちと一線を画するために強調表現や茶化した表現を多用する
エ、ノリのよさを求めたり、仲間同士の隠語を使って親しさを深めたりする

問六 **Y**に入れるべき内容を考え、二十字以内で答えなさい。

問七 傍線部(1)『「ビミョー」と言いながら微妙な認識のちがいを表現できなくなる』とありますが、その理由を最もよく説明している箇所を二十五字以内で抜き出しなさい。

問八 傍線部(2)「短絡的な思考法」とありますが、それはどのようなものですか。別のことはで端的に述べている箇所を十字以内で抜き出しなさい。

問九 傍線部(3)「かなり鮮明なイデオロギーを背負いこんでいて、これがやがては社会を変革していくことになる」は、学生運動はなやかなりしころの若者ことばと社会との関係を分析していますが、今の若者ことばと社会との関係について、筆者はどのように分析していますか。該当する箇所を三十五字以内で抜き出し、始めと終わりの七字で答えなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。 *一部改行箇所等を改めています。

十二月の長い夜の底で、我々は夢玉を発掘した。

夢玉とは、「二十歳の自分」を紙に書いて粘土で固め、二十歳になって開く日のことを思い描きつつ封印するというセンチメンタルな儀式である。その夢玉は(1)我が戦友、飾磨大輝しからだいけいが中学生のときに封印したものだ。彼が実家に戻ったとき、過去の恥ずかしい思い出の数々が放り込まれた段ボール箱の中から発掘された。すっかり忘れ去られていたものだから、すでに開封日たるべき二十歳の誕生日を大幅に通過していた。(2)彼は、一人で開けるのも味気ないので同席してほしいと言おうのである。

実際のところ、飾磨は開いた夢玉からどうどうと溢れ出すセンチメンタルの(3)奔流ほんりゅうに押し流されることを恐れたのであろう。我々は軽薄なセンチメンリズムやロマンティックな想像を排し、リアルな日常を果敢に生きぬかんと誓い合った人間ではあるものの、我々も人の子であるから、時には急所をつかれることもある。「夢玉」という存在には、そんな魂のやわらかい場所を今にもぶすりと突きかねない **X** 香りが、芬々ふんふんと漂っていた。

想像して頂きたい、夜中に一人ぼっちで中学生時代の自分が封印した夢玉を開く。それだけでも魂の局所麻酔が必要なほど痛ましい光景であるのに、そこで(4)I(来てほろ苦い涙など流そうものなら、たっぶり) **A** **四半世紀**は自分を許せぬ羽目になる。過去の

自分を見つめるにあたって、彼が私という精神的支柱を必要としたのは当然のことであろう。万一、彼が過去に心を驚擾おどろおどろみにされるようなことがあれば即刻殴り飛ばしてやらねばならぬと、私は右の拳こぶしをやや固めに握った。

話に聞いていた夢玉はソフトボールぐらいの大きさで、白い表面に藍色の (b) 混沌とした模様が焼きつけられていた。中学生当時の飾磨の内面を象徴するような不気味な模様である。私は床に新聞紙を広げ、彼は夢玉をころんと投げ出した。

「笑えない夢だったら、どうしよう」彼は呟いた。「何を書いたか忘れたのか？」

「アメリカに渡ってヘリの免許を取ると書いたような気もする。(3) 中学生だからな」「ま、とにかく割ってみようや」

錆びたベンチで殴っても、夢玉は割れなかった。よほど強固な夢が封じ込められているのであろう。彼がベンチを振り上げるたびに、白い粘土の粉が宙に舞った。さんざん苦労してようやく割った時には、周囲の畳に白粉が散乱していた。中にはフィルムケースが収められており、彼は考古学的遺物でも扱うかのように、変色した紙片をつまみ出した。

私は傍らで、彼が中学生当時の自分が思い描いた輝かしい夢と (c) 対峙するのを見ていた。十四歳の自分が思い描いた二十歳の自分に対する夢を二十三歳の自分が読む。下腹部がむずむずしてくるほど、手のほどこしような光景だった。

急に彼が腹をよじって笑い出した。あえぎながら「これは俺の夢じゃない」と叫んだ。

中学生時代の馬鹿丸出しの夢を拒否したい気持ちにはよく分かる。(4) 過去の自分の赤裸々な姿は、眼を背けたくなるのが常だ。しかし現在の我々は過去の失敗の堆積の上に成り立っている。ちょうど太古の生物たちの死骸が石油となり現代の文明を築く (d) 礎となったように、我々も過去の情けない馬鹿丸出しの自分を燃料としていまこそ見事に走ってみせねばならぬ。そのためには赤裸々な過去を (II) 受け止めることが必要だ。そもそも地下深くに埋蔵されている石油を掘り起こさねば、世の中にあまた放出されて思っても環境を破壊しているプラスチック製品は生まれない。

「違う、違う。これは俺の字ではない」彼は変色した紙片を私の眼前に突きつけた。

たしかにそれは彼の字ではなかった。内容も、大阪の私立中高一貫校に入学するなり三歩歩いて天地を指さし「天上天下唯我独尊」と宣うて全校生徒をあまねく支配したと伝えられる彼が書くようなものとは思われなかった。私は声を出して読み上げた。

「①僕は京大の野球部に入って、三冠王を取りたいです。②普通に就職して、気の合う人を見つけて結婚したいです」

「なんて詰まらない夢なんだ！」彼は叫んだ。

「君は他人の夢を十年も大事に守ってきたんだね」私は (III) 言った。

過去の自分と雄々しく対峙しようという彼の決意は行き場を失った。体内を駆けめぐる行き場のない思いと脳内麻薬を、彼が持て余しているのが手に取るよう分かった。

「思い出した」彼は呆然とした顔で呟く。「夢玉を完成させたあと、学園祭で展示した。それが終わってからは、みんな自分の作品を引き取った。あとき、俺の玉とそっくりのものがいくつかあって、それで俺は悩んだんだ。そこで入れ替わったに違いない。ああ、これは誰の夢だ。いったいこんな夢を書いたのはどこのどいつだ」

彼は (B) 怒り□□に発してまくしたてたが、その台詞の底には振り払えない哀しみが漂っていた。しんと冷え行く四畳半に二人、どこの誰のものとも分からぬ二十歳の夢を掴つかまされて、我々は (C) □□に暮れるしかなかった。

Y 俺はぼつんと呟いた。

(森見登美彦『太陽の塔』新潮文庫)

注 「天上天下唯我独尊」・・・この世に我よりも尊いものはないということ。釈迦が生まれたときに唱えたという言葉。

問一 傍線部 (a) ～ (d) の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- (a) 奔流 (b) 混沌 (c) 対峙 (d) 礎

問二 () (I)、(II)、(III)に最も適する語句を次より選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | |
|-----|----------|--------|----------|---------|
| I | (ア、はつと | イ、そつと | ウ、じんと | エ、どきつと) |
| II | (ア、ちゃっかり | イ、いやでも | ウ、けなげに | エ、堂々と) |
| III | (ア、静かに | イ、あわてて | ウ、がっかりして | エ、冷たく) |

問三 二重傍線部 (A) 「四半世紀」の意味として正しいものを次より選び、記号で答えなさい。

- ア、十年 イ、二十五年 ウ、五十年 エ、百年 オ、二百年

問四 二重傍線部 (B) ・ (C) の空欄に適する漢字を入れ、それぞれ慣用句を完成しなさい。ただし、□には漢字一字が入るものとします。

問五 傍線部 (1) 「我が戦友」とありますが、どのような点で「戦友」と言っているのですか。最もよく説明した箇所を過不足なく抜き出し、始めと終わりの七字で答えなさい。

問六 傍線部 (2) 「彼は、一人で開けるのも味気ないので同席してほしいと言っているのである」とありますが、この依頼を「私」はどのように受け止めたと思われませんか。最もよく説明した一文を抜き出し、始めの十字で答えなさい。

問七 傍線部 (3) 「中学生だからな」とありますが、ここには飾磨のどのような思いが反映していると思われるか。最も適するものを次より選び、記号で答えなさい。

- ア、輝かしい未来への期待 イ、たわいのない夢への積明 ウ、未知への興味・関心 エ、過去に対するいとおしみ

問八 傍線部 (4) 「過去の自分の赤裸々な姿」とありますが、このことについて、具体的に説明している箇所を十五字で抜き出しなさい。

問九 X ・ Y に最も適する内容を次より選び、それぞれ記号で答えなさい。

- X ア、甘美な イ、魅力的な ウ、衝撃的な エ、危険な

- Y ア、うかつにも気付かなかったよ イ、あの頃にもどりたいよ

- ウ、夢なくしちまったよ エ、他人の夢を開けちまったよ

正答例 & 解説

2023年度 一般選抜【国語】

正答例

- 一 問一 (a) 健在 (b) 抽出 (c) 寄与 (d) 許容 (e) 居心地
 問二 ① ウ ② イ
 問三 I イ II エ III ア
 問四 試行錯誤
 問五 エ
 問六 たった一人でクリスマスをむかえる淋しさ (むかえること)
 問七 対象の表面だけをすばやくとらえて大ざっぱに判断する
 問八 二極的な価値判断
 問九 大勢迎合的で、～らざるをえない
- 二 問一 (a) ほんりゅう (b) こんとん (c) たいじ (d) いしずえ
 問二 I ウ II エ III ア
 問三 イ
 問四 B 心頭 C 途方
 問五 軽薄なセンチメ～誓い合った人間
 問六 過去の自分を見つめる
 問七 イ
 問八 過去の情けない馬鹿丸出しの自分
 問九 X エ Y ウ

大問	問	配点
1	1	各2点×5
	2	各2点×2
	3	各3点×3
	4	3点
	5	4点
	6	5点
	7	5点
	8	5点
	9	5点
2	1	各2点×4
	2	各3点×3
	3	3点
	4	各3点×2
	5	4点
	6	4点
	7	4点
	8	4点
	9	各4点×2
		合計 100点



大学受験のエキスパート！
が詳しく解説！

攻略ポイント

全体で大問が2題。大問一は評論で設問数が9問。設問内容は、漢字問題、語句の意味を選ぶ問題、空欄補充問題、抜き出し問題である。大問二は小説で設問数が9問。設問内容は、漢字問題、空欄補充問題、語句の意味を選ぶ問題、抜き出し問題、心情説明の問題である。全体的な難易度は高校基礎から標準レベルで、設問は基礎的な学力を問うものであり、難問レベルのものはない。漢字の読み・書き、抜き出し、選択問題を含む記述式で出題されている。文章は比較的読み取りやすい内容であり、大問一の評論は3400字程度、大問二の小説2200字程度で、ともに標準的な分量である。設問については、正確に文章内容を読み取る力を問うものである。学校で学習する内容を理解して、丁寧に文章を読み、設問に対して正確に解くことを身につけよう。そのうえで、練習問題やびわこ学院大学の過去問題を解いてしっかりと準備しよう。過去問題は必ず時間をはかり、2回以上解いて、読むスピードや解くスピードといった時間配分を確認しておこう。

大問一

問五は何となく漠然と考えたり、根拠なく選んだりすれば、どの選択肢も言えそうになってしまう問題である。必ず本文根拠に基づいて判断することを意識しよう。空欄Xの直前「リズムカルな「ノリ」を大切にしている」や「仲間同士の連帯感を深め、若者世代への帰属意識を高めようとする」という内容を受けて、直後「異を唱えるべきものではない」と肯定しているつながりを確認する。それゆえ、「ノリのよさ」「仲間同士の隠語」という2つを盛りこんでいる「エ」が正解。

問七は理由説明の問題である。「微妙な認識のちがいを表現できなくなる」理由を説明する。傍線部の直後に「これがいわゆる「ボキャ貧(ボキャブライリー-の貧困)」ですね」とあることから、「ボキャ貧」が説明されている箇所を特定する。2つ後ろの段落の冒頭部「いずれにしても」というまとめ表現に着目しよう。「ボキャ貧」に関して「対象の表面だけをすばやくとらえて大ざっぱに判断する」という説明がされている。

問九は抜き出し問題。まず、設問要求を適切に理解しよう。ここでは傍線部自体の説明ではなく、「今の若者のことばと社会の関係」についての筆者の分析が求められている。最終段落に「昨今の若者ことば」について説明がされている。

大問二

問五は傍線部の具体的な内容を抜き出す問題である。まずは傍線部を含む一文の構文をチェックして、一文の主語(主題)を確認しよう。その主語について説明されている箇所を特定する。ここでは、次の段落に「我々は……誓い合った人間である」とある。解答のポイントは、「主語つながり」で根拠をピックアップすることである。

◎この問いを例題にして学ぼう！

- ① 傍線部を含む一文の構文をチェックする。
- ② 傍線部を含む一文の主語(主題)を確認する。
- ③ 確認した主語を手がかりにして、解答根拠を特定する。

問九は空欄補充の問題である。空欄Xは直前の「魂のやわらかい場所を今にもぶすりと突きかねない」からエ「危険な」に決まる。一方、空欄Yは、何となく考えようすると、どの選択肢でも良さそうに思える。選択肢が短いからと言って「易しい」と考えてはいけな。空欄補充は前後のつながりを確認して判断しよう。直前「どこの誰のものとも分からぬ二十歳の夢を掴まされて」「途方に暮れるしかなかった」、直後の「ぼつんと呟いた」を根拠にして判断しよう。それらを踏まえたウが正解。ア・イにつながる本文根拠は見当たらないので不適。エは根拠の一部分しか言いあてることができていない。